

明治大学 2021 年度【夏期】国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	ウィーン大学オンラインプログラム
所 属	文学部 史学地理 学科 日本史学 専攻 3 年
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)	
<p>本プログラムでは、ドイツ語の初歩的な会話表現や数字、アルファベット、時間の表現など、基本的な日常常識について学んだ。大学では 2 年間ドイツ語の授業を受けていたが、文法しか学んでいなかったため、新しく知る言葉が多かった。大学の授業内では覚えることができなかった単語も、使いながら学ぶことで自然に身についた。最終テストの結果から、自分の今後の課題はリスニングであることがわかった。</p> <p>また、他の生徒と英語で交流することで、英語の力も向上した。文法についてあまり理解できていなかった生徒に、英語で文法の説明をすることで、英語で他言語の説明をする難しさを実感した。</p>	
バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)	
<p>授業以外の活動には参加する機会がなかった。</p> <p>しかし、授業内で文法を理解できていない他の生徒に口頭で説明した際、自分の口頭での説明がわかりにくかったのではないかと考え、Word で説明を書き起こし、チャットでファイルを送信した。その結果、しばらくチャットで交流し、Instagram のアカウントを交換するに至った。自分の英語には自信がなかったが、授業内での交流やこの行動を通して、恐れずに発言してもコミュニケーションが取れること、関係を築くことができることを学んだ。</p>	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250~300 字程度)	
<p>オンラインプログラムのメリットとして、自宅から気軽に受講できる点があげられる。現地に赴くことにも大きなメリットがあるが、経済的な問題や全く違う環境に行くことによる身体的・精神的問題が伴う。オンラインでは、自宅から受講できるため、予定も組みやすく、前述の問題もクリアされると考える。特に、コロナ禍で新しいことに挑戦したい人にとっては、最適なものであると考えます。</p> <p>一方で、授業以外で生徒と交流したり、活動したりすることができないデメリットがある。現地の文化や雰囲気を感じることができないため、オンラインプログラムはあくまで語学力を少し向上させることしかできないと考える。生徒と雑談することで、ドイツ語はもちろん、英語の力もかなり身につくと考えられるので、オンラインプログラムは、総合的な語学力の向上には至らないと思う。</p>	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)	
<p>プログラム参加前は、ドイツ語の力を少し向上させたいという目標で参加した。今後は、さらにドイツ語のリスニングやスピーキング力を向上させたいと思っている。特に、テストの結果からリスニングが課題であることがわかったので、もっと聞き取れるようになりたいと考えている。</p> <p>今後の展望としては、9 月以降もドイツ語を世界中の生徒と学ぶプログラムに参加したいと考えている。また、英会話も再開したいと思っているので、英語とドイツ語の学習に注力するつもりである。「英語で他言語を学ぶ」ことの楽しさを体感したので、今回限りで終わらせたくないと考えている。</p>	
【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします(学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません)。	